

平成 2 1 年度

品川区立第二延山小学校
校長 宮下 和子



二延 学校だより 1 1 月号

<http://www1.cts.ne.jp/enzan2>

「一生懸命」は美しい！大人の姿を見せよう！

校長 宮下 和子

10月20日(火)、インフルエンザで次々と学校・学級閉鎖が続く、全体の参加状況が危ぶまれていた中、第60回小学校連合体育大会が、大井ふ頭中央陸上競技場において無事開催されました。残念ながら小学校1校が欠場となりましたが、抜けるような晴天のもと大井ふ頭陸上競技場に品川区立小学校の6年生が集い、歌い、走り、跳び、踊りました。各校の校名旗が風にたなびく中、第二延山の紫の校名旗はひとときわ翻るとひるがえり、保護者の応援の音が響きました。「二延がんばれ」

6年生は朝練習を重ねて大会に挑み、400メートル女子リレー優勝、100メートル女子2位と9位、走り幅跳び女子10位、等の素晴らしい記録を残し、品川音頭やチャレンジジャンプに真剣に臨みました。開会式の「連合体育大会」の歌声が際だって高く大きく会場に響いたのは第二延山の歴代の6年生に勝るとも劣らず、立派でした。

閉会式で安尾久子教育委員長が6年生の健闘を讃えながら「一生懸命やっているとは何か楽しくなる。一生懸命やっているとはたいていの事は出来る。一生懸命やっているとは困ったときには誰かが助けてくれる。一生懸命な皆さんの姿は見ていて美しい。」と話された時、今日の子供達の活躍が講評と重なり、心中深く頷く思いでした。

10月は6年生に限らずどの学年の子供達にも「一生懸命は美しい」と感じる姿が、学校生活の随所に見られました。アリーナでの学年発表で金子みすずの「鈴と小鳥とそれから私」を朗唱する4年生の姿、毎日交替で学年毎に取り組む朝の挨拶運動の「おはようございます」のたくさんの声、学年の教室で、専科教室で、アリーナで、学習に取り組む真剣な表情や発言の数々……。「話し手と受け手」、「話し合いと認め合い」、「譲り合いと励まし合い」といった関わり合いが、楽しさや成功体験や自然な助け合いを産み、一生懸命は美しいと感じるのかもしれない。

「一生懸命」が美しいのは子供達の姿だけではありません。今年度は市民科地区公開講座で全学年が「将来設計領域・キャリア教育」を取り上げて授業をしました。子供達が日常で目にする身近な大人の姿、職業を問わず懸命に働く大人の姿こそが、子供達の将来の仕事に対するあこがれや希望を育て、働くことの尊さを教え引き継いでいくのだと考えます。第二延山に関わる私たち全ての大人が、身近な将来像として「一生懸命は美しい」と子供達に感じ取ってもらえるよう、誠実に一生懸命に生きることが問われていると考えさせられ

た一ヶ月でした。

10月の下旬には、3年生1学級に続いて4年生が1学級閉鎖になり、4年生の連合音楽会参加や全校校外学習が中止になりました。インフルエンザは相変わらず猛威を振るっています。2学期の後半、健康管理にも真剣に取り組みましょう。

みんなの心をひとつに

4年団担任 丹野 晶子

残念ながら、「連合音楽会」には参加できなくなってしまいましたが、10月27日の音楽朝会で全校に練習の成果を発表することができました。会場は違いますが同じ本番。そんな気持ちで臨んだ音楽朝会でした。

1学期の後半から練習を始めた合奏「ハイ・ホー」。リズムの変化が難しく、なかなか息を合わせて演奏することができませんでした。しかし、楽器ごとのグループ練習、休み時間での個人練習、友達との教え合い練習を重ねることで、周りの音を聞きながら集中してみんなで心を一つにする力を高め、演奏することができました。

そして、全力で歌声を響かせた合唱「クリスタル・チルドレン」。メッセージ性のあるこの曲は、気持ちを込めて歌うのに最適な曲でした。ただ大きな声で歌うのではなく、歌詞の意味を考えながら全身を使って歌うことを目標に練習をしてきました。音楽朝会では、聴いている人たち全員が感動する合唱を歌うことができました。

練習を通して、日々努力を惜しまない継続力、常に本気で取り組むことの大切さを学んだ4年生。この経験を生かして、高学年への階段を着実に上ってほしいと願っています。



(6年 連合体育大会)



(4年 学年発表)



(あいさつ運動)

